

平成30年度学校経営計画表

1 学校の現状

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-----|------------|----|------|------|-------|-----|-----------|-----|------|--------|-------|----|---|-----|
| 学校番号 | 20 | 学校名 | 県立水戸農業高等学校 | | | | 課程 | 全日制 | | | 校長名 | 羽生昭男 | | | | |
| 教頭名 | 池田啓一 | | 蛭田清孝 | | | 小坏正代 | | | 事務室長名 | 綿引卓 | | | | | | |
| 教職員数 | 教諭 | 61 | 養護教諭 | 2 | 常勤講師 | 10 | 非常勤講師 | 7 | 実習講師・実習助手 | 25 | 事務職員 | 7 | 技術職員等 | 28 | 計 | 145 |
| 生徒数 | 小学科 | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | | 合計 | | 合計クラス数 | | | | |
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | | | | |
| | 農業科 | 36 | 4 | 33 | 6 | 32 | 5 | | | 101 | 15 | 3 | | | | |
| | 畜産科 | 17 | 23 | 20 | 15 | 15 | 23 | | | 52 | 61 | 3 | | | | |
| | 園芸科 | 28 | 12 | 9 | 26 | 22 | 13 | | | 59 | 51 | 3 | | | | |
| | 生活科学科 | 3 | 37 | 2 | 36 | 1 | 35 | | | 6 | 108 | 3 | | | | |
| | 農業土木科 | 40 | 0 | 36 | 0 | 33 | 0 | | | 109 | 0 | 3 | | | | |
| | 食品化学科 | 14 | 26 | 13 | 27 | 18 | 21 | | | 45 | 74 | 3 | | | | |
| 農業経済科 | 28 | 12 | 24 | 8 | 30 | 7 | | | 82 | 27 | 3 | | | | | |

2 目指す学校像

・知・徳・体を身に付けた社会に有為な人材を育成する学校
 ・生徒一人一人の進路希望に合わせた農業経営者・関連産業技術者を育成する学校
 ・魅力ある農業教育の実践を通して、将来のコミュニティ能力を磨くことのできる学校
 ・体験学習・国際交流等を通じて、それらに開かれた学校
 ・地域社会の関係機関・団体・住民等と連携するとともに、それらに開かれた学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

| 項目 | 現状分析 | 課題 |
|------|--|---|
| 学習活動 | ・将来に対し明確な目標を持つ生徒と持たない生徒の学習意欲の差が著しい。 | ・個に志じたわかりやすい授業を心がけ、授業に積極的に参加する意識を育成する。 |
| 進路指導 | ・生徒の多様な進路希望に対応できる指導体制が確立されていない。 ・望ましい職業観・勤労観が身に付いていない生徒が見られる。 ・農業教育の特性を生かした進路指導が十分に展開できていない。 | ・各指導体制の連絡を密にし、1年次から体系的な進路指導の確立を図る。 ・LHR等あらゆる機会を利用して、進路情報を適切に提供する。 ・進路講話やインターンシップ等により職業体験活動の参加数を高め、望ましい勤労観・職業観の育成に努める。 |
| 生徒指導 | ・公共マナーへの遵守意識が不十分であり、校則を守れない生徒がみられる。 | ・保護者とともに連携を密にし、基本的な生活習慣の育成を促すことと、公共のルールやマナーを守ることの大切さを理解させる。 |
| 特別活動 | ・部活動の加入率が低い。 ・いろいろな学校行事に対して生徒の参加意欲の低下がみられる。 | ・生徒会活動や農業クラブ活動を活発にし、魅力ある学校行事を実施する。 ・部活動紹介や見学会等を実施し部活動加入率を高める。 |
| 農業教育 | ・学ぶことや実習の意義を十分理解できず、農業への興味・関心の低い生徒がみられる。 ・農業クラブ活動、体験学習への参加意欲がやや乏しい。 | ・体験学習の充実と農業クラブの各種発表会、競技会への参加人数を増やし、活性化に努める。 ・資格取得を奨励し、学習意欲の向上を図る。 ・就農講話等を通して職業観・勤労観を養う。 |

4 中期的目標

| | |
|---|--|
| 1 | 学習活動に意欲を保持せられたために、特色ある本校施設を十分に活かした教育課程を編成するとともに、体験活動から基礎学力の向上を図る。 |
| 2 | 四年生・推薦入試・大学説明会・ボランティア活動・生徒自身・農業各分野の体験学習及び農業クラブ活動などを通して、生徒の自主的な学習を推進する。 |
| 3 | 入試・推薦入試・大学説明会・ボランティア活動・生徒自身・農業各分野の体験学習及び農業クラブ活動などを通して、生徒の自主的な学習を推進する。 |
| 4 | ボランティアクラブ活動、社会教育活動、環境美化活動等への積極的な参加を促す。 |
| 5 | 一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業への取組を推進することで、魅力ある農業教育を実践し、農業後継者及び関連産業技術者の育成を図る。 |

5 本年度の重点目標

| 重点項目 | 重点目標 |
|--------------------|---|
| ・ 基本的生活習慣の確立 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的生活習慣や規範意識を身に付けさせる。 ・ 5分前行動を心がけさせ、時間の大切さを学ばせる。 ・ 豊かな人間性や素直な心を育み、好ましい人間関係づくりを学ばせることで、いじめの絶無に努める。 |
| ・ 基礎学力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業を大切にす。積極的に授業改善に努めることで、学習内容の質的向上を図る。 ・ わかる授業、楽しい授業を工夫・展開することで、関心・意欲を引き出し、主体的に学習に取り組む習慣を身に付けさせる。 ・ 生徒個々の能力の伸長を図り、観点別学習状況の評価を踏まえた学習評価を実施する。 |
| ・ 系統的な進路指導と指導体制の確立 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 系統的な進路指導計画に基づき、学年段階ごとに応じた適正な進路指導を行う。 ・ 生徒の進路に沿った自己実現のための、適切な支援・指導を行う。 ・ 勤労観・職業観を育成するために、様々な体験活動に取り組ませる。 |
| ・ 特別活動及び部活動の活性化 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア活動、社会教育活動、環境美化活動等への積極的な参加を促す。 ・ 学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動を充実させ、生徒に達成感を持たせる。 ・ 運動部・文化部等の加入率の向上を図り、部活動の活性化に努める。 |
| ・ 健康と安全教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校施設等の点検・充実を努め、安全な校内環境の整備を進める。安全教育の徹底、特に交通事故の絶無に努める。 ・ 防災、不審者対応などのマニュアルに基づいた危機管理を徹底し、訓練等による十分な備えを怠らないようにする。 ・ 生徒及び職員の健康管理に努め、健康の保持増進を図る。 |
| ・ 農業教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業への取組を推進することで、魅力ある農業教育を実践し、農業後継者及び関連産業技術者の育成を図る。 ・ いばらき高等学校学力向上推進総合事業の成果を検証し、資格取得への積極的な取組と合格率の向上を図る。 ・ プロジェクト学習や各種発表会・競技会等に積極的に取り組ませ、学校農業クラブ活動の充実を図る。 ・ 開かれた学校づくりを継続・発展させるとともに、地域と連携した体験学習（インターシップ等）の充実を図る。 |